

オプトアウト文書	単施設研究用
臨床研究承認番号	2-021270-00

作成日：2021 年 10 月 17 日（第 1 版）

手稲溪仁会病院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

1. 研究課題名

癌性閉塞を伴う食道癌・食道胃接合部癌に対する Palliative Surgery の現状と臨床的有用性に関する後方視的研究

2. 研究の目的

食道癌/食道胃接合部癌・癌性閉塞に対して姑息的切除（Palliative surgery）を施行した症例と、閉塞解除目的での緩和的治療（Palliative treatment）として放射線照射あるいはステント留置を施行した症例の臨床経過を比較し、緩和手術治療の安全性と有効性を検討する。

3. 研究の方法

●対象となる患者さん

手稲溪仁会病院において、2015 年 1 月から 2021 年 8 月まで当科にて癌性閉塞及び根治治療不可能と判断した患者さん。内訳は Palliative surgery を施行した方と放射線照射を施行した方、ステント留置を行った方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術・放射線治療・ステント治療の治療歴、合併症等の発生状況、カルテ番号 等

●試料・情報の利用方法

上記カルテ情報を、手稲溪仁会病院外科に集約して解析を行います。いずれのデータも、診療の中で得られた情報であり、この研究のために患者さんに新たな検査を行ったり、経済的負担をかけたりすることはありません。

●研究期間

実施許可日～2022 年 12 月 31 日

4. 個人情報の取り扱い

本研究で利用する試料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、学会や雑誌等で研究成果が発表されます。取り扱う試料・情報は、研究責任者が責任を持って厳密に管理します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

手稲溪仁会病院 外科 担当医師 岡田 尚也

〒006-8555 札幌市手稲区前田 1 条 12 丁目 1-40

TEL：011-681-8111（代表） FAX：011-685-2196

研究責任者：手稲溪仁会病院 外科 木ノ下 義宏